



左は、潮の引いた月浦・坪段の磯で撮影準備をする水俣映画スタッフ。左から、助監督の小池征人、土本典昭監督、撮影助手のノ瀬正史、カメラマンの大津幸四郎。  
(写真は塩田武史)  
下は若き日の高木隆太郎。



戦後記録映画の頂点として海外の映画人にも知られる故・土本典昭監督の水俣シリーズ。この10数本におよぶ作品群の中でも、ことに評価が高く社会に大きな影響を及ぼしたいくつかの作品すべての製作、プロデューサーを務めたのは高木隆太郎でした。高木と関係者へのインタビューとその映像によって構成された記録映画「表現に力ありや」の完成を機に、これらの映画とトークを通して、人々に感動を与えつづける映画を誕生させた人と時代に迫ります。

# 水俣病記録映画を 生みだしたものの 11月5日[土]1時 アテネ・フランセ文化センター

## 「表現に力ありや—— 『水俣』プロデューサー語る」上映

(2016年、1時間40分)

製作:記録映画保存センター

プロデューサー:桂俊太郎・村山英世、監督:井上実・片岡希

インタビュー:高木隆太郎、西口清治、東陽一、津村義幸、重松良周、伊東秀志、石牟礼道子、渡辺京二、土本典昭、福元満治、有馬澄雄、柳田耕一、他

## 「水俣病——その20年」上映

(1976年、43分)

製作:高木隆太郎、監督:土本典昭

## フィルムトーク

## 高木隆太郎×村山英世×実川悠太

(水俣フォーラム)

## 水俣フォーラム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-12 竹内ローリエビル404

TEL:03-3208-3051 FAX:03-3208-3052 E-mail:mf1997@minamata-f.com

**料金** 一般:2000円、学生:1000円(20代以下に限る)、  
いずれも当日券のみ

**日時** 2016年11月5日[土] 昼12時30分開場、1時~4時  
**会場** アテネ・フランセ文化センター(千代田区神田駿河台  
2-11、アテネ・フランセ4階、130席)

**交通** JR水道橋もしくは御茶ノ水駅より徒歩8分  
**協力** 記録映画保存センター、シグロ、  
アテネ・フランセ文化センター

